

部 長

各事務局長

市 長

令和7年度予算編成方針について

人口減少の進行や物価高騰による地域経済への影響の長期化が見込まれる中、国は、官民連携による持続的・構造的な賃上げや投資の拡大などの前向きな動きを実現することで、デフレから脱却し、日本経済を成長型の新たなステージへ移行させることを目指している。

こうした中、我々は、食や農、豊かな自然環境といった十勝・帯広が有する強みと、「フードバレーとかち」の取り組みを通して高めてきた地域の魅力や活力を最大限に活かし、時代に即した新たな価値の創出を図り、地域の明るい未来を拓いていかなければならない。

令和7年度予算編成においては、中長期的な人口動態を踏まえながら、公約の実現はもとより、様々な行政課題の解決につながる事業の構築を図る必要がある。

また、とりわけ物価高騰を端緒とする義務的・経常的経費の増嵩に伴い、これまで以上に厳しい財政状況が想定されることから、事業の優先順位を厳しく見定めなければならない。このため、社会経済情勢の変化や市民のニーズを的確に捉え、業務の効率化や事業の見直しを進めながら、限られた財源の中で最大の効果が発揮されるよう、予算を編成されたい。